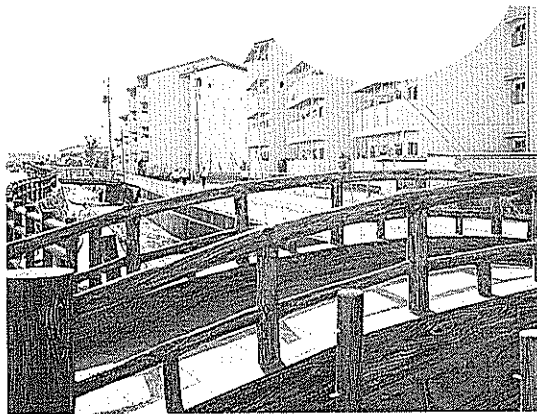


平成2年度 決算見込み

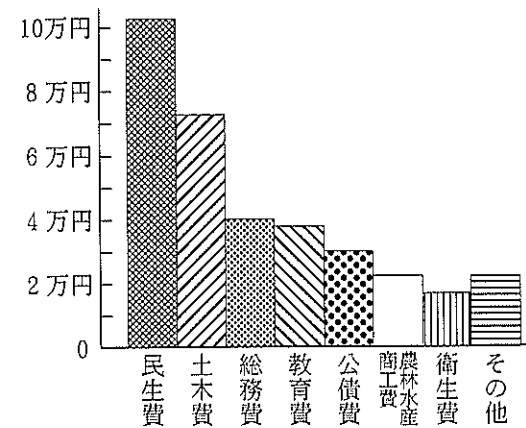


東崎西部小集落他区改良事業

市民一人当りの納付済み額は82,704円

市民税	38,897円
固定資産税	38,517円
軽自動車	1,439円
市たばこ税	3,851円

市民一人当り使われたお金は343,915円



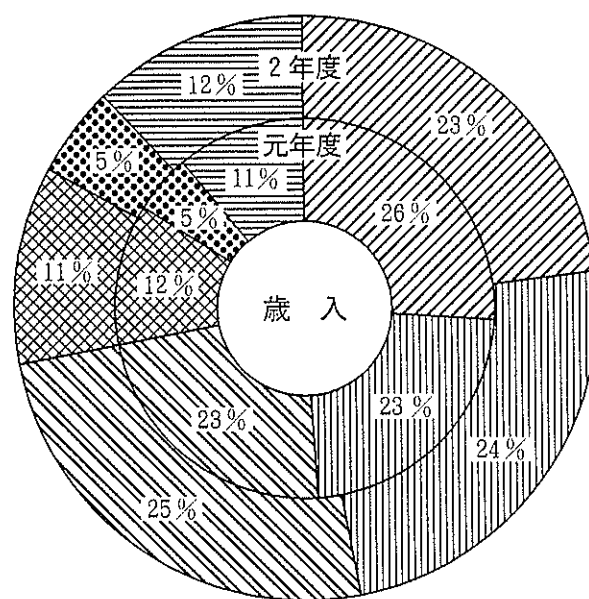
平成2年度の主な事業

事業名	事業費
小集落地区改良事業	32億8,300万円
長岡小学校校舎改築	4億2,800万円
比江工業団地用地取得	2億7,800万円
岡豊小学校校舎改築	2億1,600万円
岡豊小学校用地取得	1億9,700万円
市有林用地取得	1億7,500万円

小集事業

整然と

2年度歳出決算対前年度比較



	元年度	2年度
総額	160億6,635万円	164億6,894万円
国庫支出金	41億2,882万円	37億5,958万円
市税	37億6,352万円	39億6,137万円
地方交付税	36億8,182万円	41億2,127万円
市債	18億7,610万円	17億6,000万円
県支出金	8億6,087万円	20億5,958万円
その他	17億5,522万円	20億5,958万円

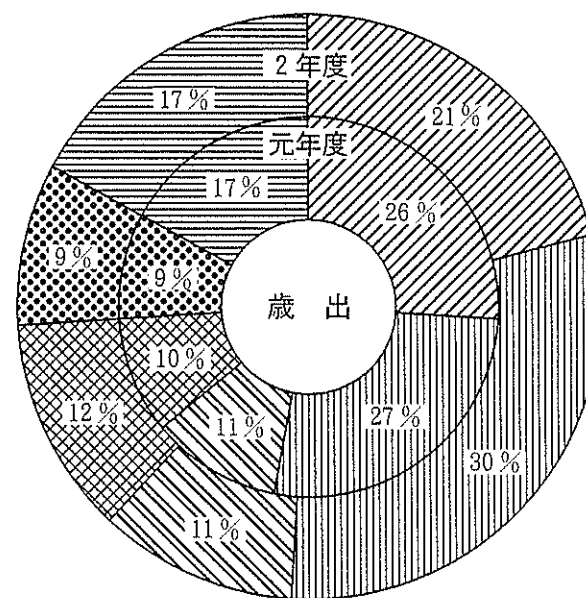
市税の内訳

市民税	18億3,466万円
固定資産税	18億1,671万円
市たばこ税	1億8,162万円
軽自動車の	6,787万円
その他	6,051万円

仕上げへ急ピッチ

区画された町並みに変ぼう

2年度歳出決算対前年度比較



	元年度	2年度
総額	158億7,949万円	162億2,144万円
土木費	41億373万円	34億1,675万円
民生費	43億5,935万円	48億1,777万円
教育費	16億9,928万円	17億9,570万円
総務費	16億4,017万円	19億1,082万円
公債費	14億3,940万円	14億3,633万円
その他	26億3,756万円	28億4,407万円

市の財政がどのように運営されているのかを市民の皆さんに知っていただくため、財政事情を公表していますが、このほど平成2年度の決算見込額が明らかになりました。それによると、今年も市税や地方交付税等の歳入が増え、健全な財政運営がなされています。また、開発公社への負債が大幅に減少、今後の明るい材料となっています。

また、財政にどれだけの弾力性があるのかを知る経常収支比率（いつも決まっている収入にたいして、いつも決まって支払わなければならない支出の割合で、数字の低いほど財布に余裕があることを示す）は七四・五割と前年並に健やかな指数は七五割ぐらいといわれていますが、これは好景気による税収の伸びに伴う普通交付税の増加のためであり、楽観できる指数とはいえません。

また、市の借金である地方債の借入れ残高は約百四十九億円と八・三割も増加、今後の財政運営に慎重さを要するものになっています。

開発公社への負債大幅減

歳入では、対前年比で二・五割の増加で財政状況は好調。しかし、依然として特定財源への依存度が高い構造になっているため、市独自で大きな事業を行うには相変わらず困難な状況となっています。

歳出では、小集落地区改良事業の法期限内完了を目指した事業の進展と義務教育施設の整備・充実、および開発公社への支払いによるものなどで、同公社への負債も残り約七億円と、この一年で五億円も減少。

長い間、財政運営上の大きな足かせとなってきた同公社への負債問題にも、ピリオドを打てる日が近づきつつあります。